

ニユースの 主役

2015, 11, 25
Nikkei Business

米製薬VBの買収開始

アステラス製薬は米製薬ベンチャーのオカタ社の買収を開始した。オカタ社はES細胞から作った細胞シートを用いて、加齢黄斑変性の再生医療の実用化を目指している。現在第2相治験まで進んでおりES細胞研究のトップランナー。買収によりアステラスはこの分野で一気に世界の先頭集団を走ることになる。

細胞医療で先頭走る

細中好彦社長は「細胞医療にリーディングポジションを確立し、眼科以外の疾患でもパイプラインを構築、発展させていく」と自信を示した。

もともと、ES細胞は、そのまま胎内であればヒトになる胚から作るため、実用化には倫理的な問題が指摘されている。「問題はクリアしている」としながらも「ES細胞にこだわっているわけではない」とも語り、今後はiPS細胞も含めた再生医療を積極的に進めていく。

(山崎大作)